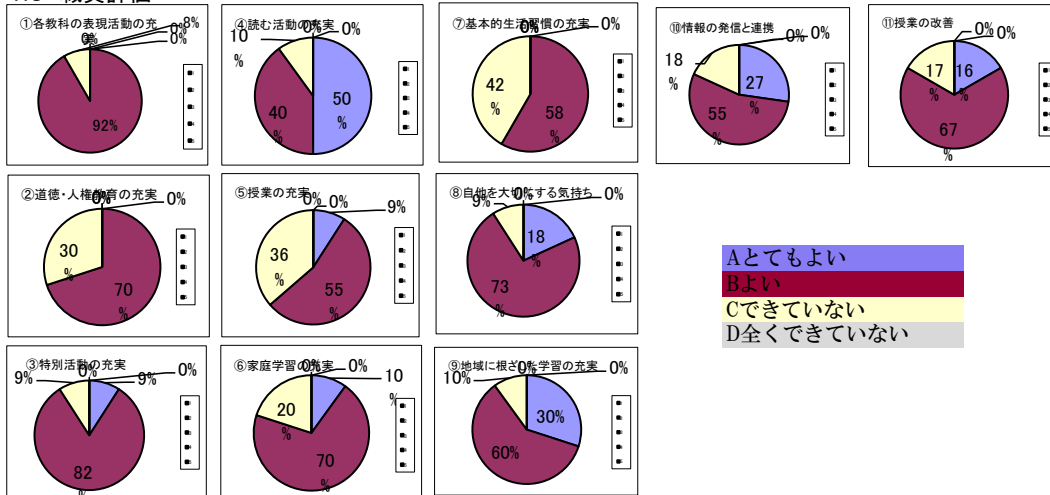


H6 職員評価



教育活動・学校運営

- ① 他者の考えを受け止めることはよくできる。自分の考えを表すことが弱い。
 - ・学習中に分からないと言えたり、教え合ったりするようになった。
 - ・友達の考えをつなぐ活動を大切にできた。
 - ・答えが合っていればよいのではなく、どう考えたかを説明し合う活動を大切にしていきたい。
 - ・ペア学習やグループ学習などの形態で課題について話し合う場面を仕組んでいきたい。
- ② 相手の立場を考えることはできつつあるが、実践が難しい。
 - ・自分本位の発言が多い。→違いを責めるのではなく、許容できるような態度を育てたい。(SST等)
 - ・自分の生活とつながられるような授業、発問をしていきたい。
 - ・「〇〇さんの意見に心がゆれた」という見返しを心がけてさせたい。
- ③ 運動会や様々な行事等で、めあてを持って本番に臨み、振り返ることを大切に行った。
 - ・児童会のミッションなどで、クラスの行動を振り返ることができた。
- ④ 今年度は朝読書に取り組み、集中して読書に取り組める児童が多い。
 - ・担任や図書館司書、地域のボランティアによる読み聞かせなども行い、本に親しめている。
 - ・中には絵を見ているだけの児童もいて、どのように読書に向かせるか考えていきたい。
- ⑤ 「なぜそうなのか」考えの根拠を説明しながら学習することができた。
 - ・ペア学習、グループ学習を意図的に取り入れた。もっと対話的な学習をしたい。
 - ・やり方を教えることに精一杯になってしまうことがある。児童の発言やつぶやきから授業づくりを行っていきたい。
 - ・学級のほぼ全員がしっかり提出できるようになり、家庭学習が習慣化された。
 - ・学年、学級間の差がないようにしたい。(宿題の有無や量)
- ⑦ 保健室への入室の決まりは守れる児童が増えた。
 - ・靴のかかとを踏む、廊下を走る、時間を守れない等の児童には声かけを行っている。
 - ・子ども同士の声かけが増えている。
 - ・習慣づくまで、ルール作りや声かけ等で根気よく取り組んでいきたい。
 - ・どうして大切かの意味をくり返し考えさせながら、委員会活動として意識させていきたい。
 - ・くん、さん付けができていない子が多い。なかよし月間で徹底していきたい。
- ⑧ 相手よりも自分のことを中心に考えている子が多い。
 - ・相手がどんな思いか、声色や表情に注目するなどその都度声かけをした。
 - ・帰りの会で、友達にしてもらって嬉しかったこと、友達のよかった所などを発表する時間を設定し、友達へ思いが向くようにした。
 - ・行事を通してながら、より深い仲間関係を築いていきたい。
- ⑨ 学習や行事から人や物との関わりが持てた。
 - ・玉ねぎの収穫体験やミニトマトの栽培、蚕の飼育など地域から学ぶ活動ができた。
 - ・地域講師を招いての学習に取り組んでいきたい。
- ⑩ 学校・学年・学級便り、保健便り、HP等で学校の様子や、その時の児童の健康に合った内容を伝えることができた。
- ⑪ 低学年はMIMと国語の学習を連携することができた。
 - ・授業改善グループ、UD化グループの考えを生かして改善に努めている。
 - ・日々の疑問点などを研修の折に聞くなどして解消できた。
 - ・文献や教育関連の本などから授業に生かせるようにしている。これから取り入れていきたい。